

平成18年 県内における建設業の死亡災害発生状況

	発生日時	署別	業種	事故の型	被災者の職種 性別・年齢	災害の発生概要	発注者
1	2月13日(月) 14時30分	気仙沼	その他の 建築工事業	墜落・転落	管理者 男 65歳	スレート屋根の改修工事の見積りのため、スレート屋根上に上がり、調査しようとしたところ、当該スレートを踏み抜き、約6メートル墜落し死亡した。	民間
2	2月16日(木) 11時20分	仙台	道路建設 工事業	飛来・落下	貨物自動車 運転者 男 45歳	敷き鉄板(1.6トン)をドラグショベルで吊り上げ、ダンプの荷台に積込もうとしたところ、玉掛け用チェーンのフックから鉄板が外れ、ダンプの荷台のアオリと鉄板に挟まれ被災した。	市町村
3	3月7日(火) 12時30分	石巻	木造家屋建 築工事業	その他	営業・販売関 連事務員 男 49歳	営業活動中、昼食をとるために入った食堂のトイレの中で倒れていた(脳・心疾患)。発症前に長時間労働があったとして業務上となった。	なし
4	4月3日(月) 15時40分	仙台	鉄骨・鉄筋 コンクリート造 家屋建築工事業	感電	解体工 男 31歳	工場の壁面改修工事において、足場上でシート養生作業を行っていたところ、電線とからだの一部が接触し、感電した。	民間
5	4月17日(月) 15時15分	瀬峰	その他の 土木工事業	崩壊・倒壊	土工 男 44歳	圃場整備工事において、ヒューム管設置作業を行っていたところ、地山(高さ3m、幅約4.5m、厚さ50cm)が崩壊し、作業員3名が生理めとなったもの。(死亡1名、休業2名)	県
6	6月10日(土) 9時40分	仙台	鉄骨・鉄筋 コンクリート造 家屋建築工事業	墜落・転落	土工 男 68歳	アパート新築工事に付帯する駐車場造成工事で、RC基礎を設けるためドラグショベルによる掘削作業の手元で測量を行っていたところ、盛土された法の端から、2.4mしたの隣地に転落し、土間コンクリートに頭をうった。	民間
7	11月15日(水) 9時30分	瀬峰	鉄骨・鉄筋 コンクリート造 家屋建築工事業	墜落・転落	不詳 男 50歳	仙台市内の空き家となっている貸し工場において、雨漏り修理のため屋根に上っていた被災者が、スレート屋根を踏み抜き、高さ5.5mからコンクリート床に墜落したものの。	民間
8	12月5日(火)	古川	電気工事業	墜落・転落	電工 男 24歳	大崎市の市道において、高圧線の張替え工事中、高所作業車のバケットの中(地上高11.7m)で本線の誘導をしていた被災者が、古い線と新しい線を結ぶためのワイヤーと古い線との結び目が延線ローラー一部に引っかかり、ほどけた拍子に、新しい線に引っ張られるようにしてバケットから転落し、死亡した。	民間

注: 本表は、建災防宮城県支部が宮城労働局から入手した情報により作成したものです。